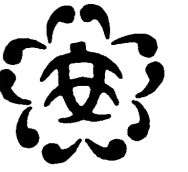


一人一人が輝き、大切にされる学校 十神小学校



【学校教育目標】
学びあい 磨きあい 鍛えあいながらたくましく実践する子どもの育成

《学校づくりの基本的な考え方》

- 1 学校経営の目標は児童です。
- 2 チーム十神として同僚性を高め、協同して取り組みます。
- 3 笑顔とチームワークで地域に愛される学校を目指します。
- 4 全職員の意志や実践を尊重し、人間形成に努めます。
- 5 児童一人一人を大切にし専門職としての力量を高めます。
- 6 働き方改革を推進し、生き生きと児童に向き合います。

《努力目標》

- 1 全職員で一致協力して、子どもの指導にあたります。
- 2 地域の「ひと・もの・こと」を生かし、特色ある学校づくりを推進します。
- 3 地域の人材の活用や積極的な情報発信など、開かれた学校づくりを推進します。
- 4 基本的な生活習慣を確立し、各教科の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ります。
- 5 学校の危機管理体制を強化し、教育活動の安全確保に努めます。

◇ めざす子ども像

- ☆ ①もに話し合い、考え、学びを深める子（自ら学ぶ子）
- ☆ ②かわりの中で、温かい人間関係を築ける子（思いやりのある子）
- ☆ ③みんなと進んで体を動かし、健康・安全に生活する子（元気な子）

元気な子（体）

【重点と具体的方策】

- ◇ 基本的な生活習慣の確立
 - * 生活チャレンジ週間の取組をとおり、「早寝」「早起き」「朝ごはん」の大切さを継続的に意識づけるようにします。
 - * 適切なメディアとの関わりについて、学年に応じた指導を実施します。
 - * 「保健だより」などを通して、食育、歯の健康に関わること、メディア接触などの健康・安全に関わることに保護者の皆さんへの啓発を図ります。
- ◇ 体力の向上
 - * 体力テストの結果からの本校児童の実態を基に、自己との関わり、仲間との関わり、教材との関わりを大切に授業づくりに取り組みます。
 - * 継続的な体力づくりを進めます。マラソン大会やなわとび大会などに向けた、マラソンカードやなわとびカードを活用した取組を計画的に進めます。
 - * 児童会活動を中心に、児童の主体的な体力づくりの取組を支援します。
- ◇ 感染症対策の徹底
 - * 最新の情報や通知に基づき、全校体制での感染予防に取り組むとともに、感染症予防に取り組むとともに、感染症対策に基づいた教育活動の実施に努めます。



《保幼小中連携教育》

- * スタートカリキュラムをもとに、円滑な接続と教育の連続性・一貫性を確保します。
- * 学力の向上、基本的な生活習慣づくりなど、共通の認識に立って取り組みます。
- * 学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、これからの生き方を考えたりするキャリアパスポートを活用します。

《特別支援教育の視点を大切にされた教育》

- * 個々のニーズに応じたきめ細やかな支援をします。（合理的配慮と基礎的環境整備）
- * ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを進めます。
- * 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実を図ります。
- * 将来の社会的自立を目指した就学指導を行います。

《危機管理能力を高める》

- * 学校危機管理マニュアルに即した迅速な対応をします。（避難訓練・職員研修）
- * 定期的な校内、校外の安全点検による安心・安全な学校環境づくりをします。
- * スクールメールの活用により、迅速な情報連携を図ります。
- * 様々な問題に対しては、危機管理の原則「さしずせそ」に基づいた丁寧な対応をします。

思いやりのある子（徳）



【重点と具体的方策】

- ◇ 特別支援教育の充実
 - * ひまわり学級・たんぽぽ学級を中核に、一人一人の個性が認められる教育を進めるとともに、理解教育を計画的に行います。
 - * 通級指導教室・安来市教育委員会との連携を図り、一人一人の確かな見取りとニーズに応じたきめ細やかな支援に努めます。
 - * インクルーシブ教育を推進します。（基礎的環境整備と合理的配慮）
- ◇ 道徳教育の充実
 - * 発達段階を踏まえ、「考え・議論する」授業づくりに努めます。また、道徳ノートの活用などにより、一人一人を適切に評価し、授業づくりに生かします。
 - * 児童の実態把握を基に、道徳の内容項目について重点化して取り組みます。
 - * 全教育活動を通して、道徳性が培われるように配慮します。
- ◇ 人権教育の充実
 - * 生命と人権を大切にされた風土づくりと、児童の進路保障に向けた取組に努めます。
 - * 教職員の人権感覚を高め、児童の人権を尊重した言動に努めます。
- ◇ 生徒指導の充実
 - * 「挨拶」の習慣化のために、挨拶向上の取組を推進します。
 - * 規範意識の向上を目指します（マナー・ルールの遵守）。
 - * 温かい人間関係づくりを進め、絆づくり・居場所づくりに努めます。（年間に2回の教育相談週間・計画的な「なかよし班」活動）

自ら学ぶ子（知）



【重点と具体的方策】

- ◇ 授業力の向上～「わかる・できる」授業が、一番の生徒指導です。
 - * 一人一人の個性に合わせた学び方（ユニバーサルデザインの視点）を意識し、みんながわかる授業づくりを進めます。学校全体で授業の質的な向上を目指します。（十神小授業スタイル・十神小スタンダードの着実な実践）
- ◇ 学習習慣の定着
 - * 「家庭学習の手引き」などをもとに、発達段階に応じた指導を計画的・継続的にを行い、学習習慣の定着を図ります。
- ◇ 基礎基本の定着
 - * 各観点からの系統性を明確にし、日々の授業において、その学年で習得すべき基礎基本の確実な定着を図ります。
 - * 「ジャンプタイム」を活用し、学習内容の確かな定着と発展的な学びの場を確保します
- ◇ ふるさと教育の充実
 - * 各学年においてねらいと学びを明確にし、ふるさと安来での学習を計画的に進め、地域との関わりを深めます。
- ◇ 学校図書館の活用と読書活動の充実
 - * 学校司書、司書教諭と連携し、学校図書館を活用した学習を計画的に実施します。
 - * 読書タイム、読み語りなど、読書活動を活性化するための取組を進めます。
- ◇ 外国語科・外国語活動の充実
 - * 加配教員、ALTと連携し、毎時間、児童の興味関心を大切に活動を実践します。

《学校評価》

- * 児童・保護者アンケートによる教育活動の評価を生かします。
- * 職員による学校評価（1・2学期末）を行い、改善につなげます。
- * 学校評議員による関係者評価を実施します。
- * 評価及び調査結果の公表と改善作業を進めます。

《保護者の皆様・地域の皆様との連携》

- * 「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと教育を進めます。（体験と学びの明確化）
- * 読書ボランティアさんの読み語りによって、子ども達が本に親しむ場を増やします。
- * 学校だより、ホームページによる情報の発信に努めます。
- * 見守り隊さんとの連携により、児童が安全に登下校をすることができるようになります。
- * 3つの学童クラブとの連携を進めます。

十神小の相手を大切にしたいあいさつ（「おはようございます」・「こんにちは」・「さようなら」）を伝統・文化に

【今年度の研究主題】 確かに豊かな言葉でつながり合う子どもの育成 ～つけたい力を明確にした説明的文章の指導を通して～